

東大和市都市マスタープラン全体構想(素案)に関する説明会

1. 説明会開催状況

開催日	開催時間	開催場所	参加人数
令和5年12月21日(木)	19時10分から20時00分まで	南街公民館 204学習室	6人
令和5年12月22日(金)	19時10分から20時00分まで	中央公民館 視聴覚室	2人
令和5年12月25日(月)	19時10分から20時00分まで	奈良橋市民センター 学習室	2人
合計			10人

2. 説明内容

スライド説明資料を用いて、東大和市都市マスタープラン全体構想(素案)について説明した。
(所要時間約25分)

3. 参加者からの意見等と市の回答の要旨

	参加者の意見等	市の回答
1 都市マスタープランの改定について		
1.	現行の東大和市都市マスタープランは、どのように評価しているのか。 20年前から今までどう変化し、どのように市は評価しているのか聞きたい。	道路や河川などのインフラは少しずつ整備が進められてきた。 一方、工業地域などの土地利用の変化により機動的に対応していくことや、「生活心」と呼んでいる拠点の形成により具体的に取り組んでいくことが課題であると捉えている。 また、他市と比べ道路整備等が進んでいるが、今後、老朽化したインフラの更新が課題になってくると考えている。
2.	資料P3の「(1)人口動向」で減少見込みと記載されているが、2030年代半ばに開業予定のモノレールの延伸を踏まえた上でも、人口増加が難しいと見込んでいるのか。	緩やかに人口減少が進んでいる状況である。 定住人口の減少抑制に加え、交流人口の増加も目指していく必要があると考えている。 モノレールの延伸計画等により、上北台駅周辺で土地利用が活発化してきており、モノレール延伸の機運を捉えつつ、定住人口の減少抑制などを図りたい。

2 将来像について		
3.	<p>将来像の3番目にある「子どもたち」というキーワードについて、次世代の子どもたちが東大和市に住み、住み続けたいと思えるまちであることが大切である。</p> <p>また、「成長するまち」ではなく「人をつくるまち・住みたいまち」のように、人を主語にする方が良い。</p> <p>将来像の1番目にある「緑」は東大和市の一番の特徴だと思う。</p>	<p>将来像の候補の中から一つを選択する方法、全く異なるキーワードであらためて作成する方法があるが、将来像は一つに絞りたいと考えている。</p> <p>貴重なご意見として頂戴する。</p>
4.	<p>将来像の候補に「安全・安心」が出てこない。居住者としては非常に大事なことだと思っている。</p>	<p>4つの将来像の候補は、市民意見等を踏まえ作成している。</p> <p>市民アンケート調査で「安全・安心」のキーワードも上位に入っていたことなどを踏まえ、基本目標で掲げたところである。</p> <p>貴重なご意見として頂戴する。</p>
5.	<p>多摩地域の特性である「みどりを身近に感じられ、未来につながるまち」というのは、非常に共感が持てる。そこに「こども」という言葉が入ると、「子育て」に繋がり、「定住化」に繋がっていくのではないか。</p> <p>都市の将来像がスローガンの形となり、地域ごとの構想に反映されていくという理解で良いのか。</p>	<p>4つの将来像の候補は、スライドP13にある三角形の一番上の部分に相当する。</p> <p>全体構想の構成としては、将来像を頂点として裾野に広がっていくように、基本目標、分野別方針を定めている。</p> <p>地域ごとの構想については、都市の将来像等を踏まえながら来年度、作成することを予定している。</p>
3 基本目標について		
6.	<p>わかりやすく目玉になるもの、みんなが共有できる部分があると良い。東大和市ならではの部分があった方が分かりやすい。</p> <p>大規模店舗が多いことは魅力の一つだが、地元の商店も魅力だと思っている。地元の商店が形成する持続的なコミュニティは、まちづくりの重要な要素の一つである。</p> <p>東大和市は要素が豊富にある。良い点でもあり難しい点でもある。特徴を活かすためには分散拠点の構想は合っていると思う。</p>	<p>これまで説明会において、東大和市駅前の賑わい形成や駅前開発、道路整備に関する意見等が寄せられており、それらも目玉の一つになると思っている。</p> <p>分散した拠点を交通ネットワークにより相互に結び付けていく視点は重要だと考えている。</p>

4 分野別方針について		
7.	<p>【土地利用】</p> <p>東大和市には宿泊施設がなく、来訪者は立川市や東村山市に宿泊する。全体構想（素案）に上北台駅周辺の宿泊施設について記載があるが、進行中の計画があるのか。</p>	<p>具体的な計画がある訳ではない。</p> <p>上北台駅は狭山丘陵の玄関口として居住者のみならず来訪者の滞在の受け皿としての役割も考えられるため、様々な機能の一つとして可能性があるものを例示した。</p>
8.	<p>【土地利用】</p> <p>市の顔である東大和市駅前の開発について、具体的なプランやスケジュールの作成が必要である。</p> <p>また、用途地域の変更についても明記すべきである。</p>	<p>都市マスタープランの改定において、東大和市駅周辺を市の玄関口にふさわしい魅力的な拠点に位置付けつつ、具体的な調査検討を行っていきたいと考えている。</p> <p>今後、用途地域の見直しを含め、より具体的に記載していくことを検討したい。</p>
9.	<p>【土地利用】</p> <p>旧大和基地跡地や都営住宅周辺など未利用地がいくつかある。</p> <p>市ができることに限りがあることは理解しているが、活用の方向性を定め、生産性が上がるような計画にしてほしい。</p>	<p>今後の改定において、地域ごとの特徴を踏まえ、地域の将来像を明らかにしていく。</p> <p>未利用地については、土地所有者の考え方を前提としながらも、地域ごとの特徴や将来像を市が示していくことが重要であると考えている。</p>
10.	<p>【土地利用】【産業・観光】</p> <p>この数年で商店会の会員数が100以上であったものが60以下と大幅に減っている。</p> <p>東大和市駅前の賑やかさは大事なので、「賑やかな駅前」というまちづくりを目指してほしい。</p>	<p>これまで様々な機会で市民の意見を聴いてきたが、東大和市駅前がさびしくなったという声が寄せられている。</p> <p>東大和市駅周辺では、商業・業務、居住、公益施設などの機能が高度に集積した市の玄関口にふさわしい、賑わい・交流・活力のある魅力的な拠点の形成を目指したい。</p>
11.	<p>【道路・交通】</p> <p>今後、東京街道団地に商業施設が整備されるので、中央通りにちよこバスのルートがあれば、アクセスが容易になるのではないかと。</p>	<p>東京街道団地は公共交通空白地域になっていないため、ちよこバスの運行の対象地域に当てはまらないものと考えている。</p>
12.	<p>【道路・交通】</p> <p>芋窪地域の交通の便が悪いという話をよく聞くが、市はどのようなことに取組んでいるのか。</p>	<p>芋窪地域においては地域と市が協働でコミュニティタクシーの試行運行を実施したところである。</p>

13.	<p>【道路・交通】</p> <p>モノレール延伸や高齢者の免許返納などを踏まえた公共交通ネットワークについて、市の考え方を聞きたい。</p>	<p>高齢者の免許返納などにより、今後、公共交通の果たす役割が大きくなっていくと予想される中で、鉄道・モノレール、路線バス、コミュニティバスなどが各々のコンセプトに基づいて相互に補完し合い、持続可能な交通としていくことが重要であると考えている。</p>
14.	<p>【産業・観光】</p> <p>農地の利用について、農福連携という視点を盛り込んで進めてほしい。</p>	<p>農業は東大和市の魅力の一つであると認識しており、農福連携についても研究していきたい。</p>
15.	<p>【産業・観光】</p> <p>東大和市に産業が根付いていく仕組づくりが必要だと考える。産業立地により人が集まるという効果もある。</p>	<p>全体構想（素案）では「製造業をはじめとした市の産業の維持・継続を図る」としており、居住環境と操業環境の調和を図るよう検討したい。</p>
16.	<p>【産業・観光】</p> <p>ソフトウェアの会社など新たな産業の誘致などにより、産業分野の活性化を図る取組を進めてほしい。</p>	<p>産業には、工場以外にもデジタル系企業やスタートアップ企業など小規模空間でも成り立つ形態や、シェアオフィス等を利用した創業等も考えられるため、産業振興分野と連携した取組を検討したい。</p>
17.	<p>【安全・安心】</p> <p>集中豪雨による道路冠水により、障害者の方の車椅子が通れなくなり大変だった。対策について伺いたい。</p>	<p>東京都や関係市が連携して取り組んでいる空堀川上流雨水幹線整備事業をはじめ、総合的な雨水対策が必要であると認識している。</p>
18.	<p>【安全・安心】</p> <p>狭山丘陵における土砂崩れなどの危険性について伺いたい。</p>	<p>市北部の狭山丘陵の一部は、東京都により土砂災害防止法に基づき、土砂災害特別警戒区域等に指定されている。</p> <p>指定区域や避難情報等についてはハザードマップへの掲載などにより周知している。</p>
19.	<p>【安全・安心】</p> <p>大雨などによる空堀川の氾濫などの危険性について伺いたい。</p>	<p>空堀川の下流側から改修工事が順次行われており、芋窪地域の付近まで進んでいる。</p> <p>将来的には時間 50mm の降雨にも対応できるよう計画されており、事業の進捗により浸水被害等の軽減が図られると認識している。</p>

5 その他		
20.	全体構想（素案）の中に、拠点形成や道路整備などのハード面に関する記載はあるが、教育やDXなどのソフト面の記載がない。	今後、改定を進める際には、ソフト面に関する内容についても関連計画と整合を図りながら、必要な事項を記載していきたい。
21.	上北台駅の駅名を変更してほしい。	上北台駅の駅名変更については、今後、機会を捉えて要望することを検討したい。
22.	市長が代わり、政策に方針転換があれば教えてほしい。	和地市長は様々な社会課題に直面する中で、資源や仕組みを活用し、工夫を加えながら未来志向でまちづくりを進める姿勢であると理解している。 担当課としても、お茶などの農産物、歴史ある神社仏閣、狭山丘陵をはじめとしたみどり等の東大和市の資源を活かし、魅力を高めることにより、「住みたい、住み続けたい」と思えるまちづくりを進めていきたい。
23.	全体構想（素案）の中にDXの要素が少ないので、東大和市独自のDXがあるとよい。	DXの視点をまちづくりにどのように組み込めるかについては、今後検討していきたい。
24.	急速な技術革新など社会情勢が目まぐるしく変化する中で、20年後は想像もつかない社会になっている可能性がある。実現可能性が低いものも記載してよいのではないか。	20年後を見通すことの難しさはあるが、実現可能性があることについて排除しすぎることをしないよう留意していきたい。